

江南市放課後子ども総合プラン運営委員会(第1回)

●開催年月日 令和3年7月28日(水)

●場 所 江南市役所 3階 第3委員会室

●出席者 出席委員 11名
会 長 伊 藤 鶴 吉
副 会 長 木 村 嘉 宏
委 員 倉 地 一 秋
委 員 永 田 裕美子
委 員 加 藤 李 恵
委 員 岸 宏 行
委 員 山 城 英 俊
委 員 平 松 結 華
委 員 西 部 茂 夫
委 員 長 井 容 子
委 員 梅 本 孝 哉
欠席委員 1名
委 員 滝 哲 治

説明のため出席した職員

教 育 長 村 良 弘
こども未来部長 貝 瀬 隆 志
こども政策課長 稲 田 剛
こども政策課主幹 栗 本 真由美
こども政策課副主幹 丹 羽 克 仁
こども政策課主査 岡 地 孝 浩

事務職員 こども政策課主査 田 中 なおみ

傍聴人 0人

議題

- (1) 令和2年度放課後子ども教室推進事業報告について（資料2）
- (2) 令和2年度放課後児童健全育成事業（学童保育）報告について（資料3）
- (3) 令和2年度放課後子ども総合プラン事業報告について
- (4) 令和3年度放課後子ども教室申込状況及び放課後児童健全育成事業（学童保育）登録状況について（資料4）
- (5) 放課後子ども教室及び放課後児童健全育成事業（学童保育）における新型コロナウイルス感染症対策について（資料5）

午後2時00分 開 会

1. 教育長あいさつ

2. 会長及び副会長の選出

会長に伊藤鶴吉様、副会長に木村嘉宏様が選出

3. 会長あいさつ

伊藤会長よりあいさつ

4. 放課後子ども総合プランの概要について（資料1）

事務局より説明

質疑応答なし

5. 議題

(1) 令和2年度放課後子ども教室推進事業報告について（資料2）

事務局より説明

質疑応答なし

(2) 令和2年度放課後児童健全育成事業（学童保育）報告について（資料3）

事務局より説明

質疑

委員 学童保育と放課後子ども教室の登録受付は、年に一度しか行われな
いのか。また、退室は随時行い受け付けるのか。

事務局 放課後子ども教室については、1月から受付開始し、抽選の結果で
合格者が決定し、抽選に漏れた方は待機となります。その後、新年度
になり退室された方がみえましたら、待機の方が繰り上がって入られ
ます。待機がない場合は、随時申し込みをいただいた中から、その翌

月または翌々月から入室できるようになっています。

事務局 学童保育については、12月に申込開始し、翌年1月に一旦申込を終了します。ただ、そこで打ち切りではなく、放課後子ども教室と同様に随時申込は受けており、入所可能な場合は、随時、案内をしています。

会長 資料3にあるように、保護者の共働きが増えたということで、学童保育も放課後子ども教室も、非常に需要が多いのではない。

事務局 共働きの方が増えてきており、子どもを学童保育へ預けたい方は年々増加傾向にあります。

事務局 放課後子ども教室につきましても同様に、各学校によって多い少ないはありますが、入室を希望されている方が増えているように思われます。

(3) 令和2年度放課後子ども総合プラン事業報告について

事務局より説明

質疑

会長 放課後子ども教室を実施している8校のうち共通プログラムの実施校は7校とのことですが、どこの学校が実施していなかったのか。

事務局 市内小学校10校のうち、放課後子ども教室の実施は8校のみとなり、草井小学校では共通プログラムがまだ実施がされていません。

会長 現在、草井小学校はどうなっていますか。

事務局 草井小学校につきましては、現在、新型コロナウイルス感染症対策のために、まだ共通プログラムが開始できていない状況になっております。

会長 実施の希望はあると思われませんが、どうですか。

事務局 進めていく計画はございますが、まだ実施には至っておりません。

(4) 令和3年度放課後子ども教室申込状況及び放課後児童健全育成事業（学童保育）登録状況について（資料4）

事務局より説明

委員　　こういう子どもが集まる場所で、1つは、コロナ感染の問題、もう1つは子ども達が他学年の子と仲良く交流ができているかどうか、そういった部分が気になっていますが、どうでしょうか。

事務局　ご指摘がありましたように、このコロナ禍の中で子どもが集まることの是非は、非常に大きな課題ではありました。学童保育も放課後子ども教室も子ども達が教室の中で集まることは、どうしようもないことですので、いかに感染しないように対策をしていくかということになってきます。そうした中で、子ども達には、指導員のほうから密集しないように注意をすることも当然ですし、マスクの適切な着用、手指の消毒、手洗いなどを、きちんと説明しながら、室内遊びであったり、読書であったり、外遊びであったり、そういったことを続けてきました。次の議題の中でも少しご説明させていただきますが、こういったことに注意をしながら、学童保育のほうも放課後子ども教室のほうも実施をしてきました。

委員　　この場で、このような質問をするのが正しいのか分らないですが、学童保育の方から、「預かれないので、来ないでください。」と断られてしまった方が実際にいらっしゃったようですが、他の子に危害を加えてしまうから預かれないなど、退所には何か決まりがあるのですか。

事務局　学童保育、放課後子ども教室ともに、年齢の小さな子から大きな子まで様々な学年の子が集まる中で、普段の学校とは違う環境でお預かりしております。その中で、言葉が適切でないところがあるかもしれませんが、少し横着な子や子ども同士の喧嘩でお友達に怪我をさせてしまう子も中にはおります。そういった場合、指導員や市の職員から保護者の方に注意をさせていただきますが、それでもなお、なかなか改善がみられなく、学童保育や放課後子ども教室の運営に支障をきたすという場合には、在籍をご遠慮していただいたということも過去にはございました。

(5) 放課後子ども教室及び放課後児童健全育成事業（学童保育）における新型コロナウイルス感染症対策について（資料5）

事務局より説明

会長　　学校ではどのようなコロナ対策をしていますか。

委員　　学校では、資料に掲げているような内容のものは、大体やっております。

す。授業については基本的には暑さ対策、熱中症対策をしながらですが、できるだけ教室にエアコンを効かせて、同時に換気をしながらマスクをしてということで行っております。あと、給食時についても、全員が同じ方向を向いてしゃべらずに、食べる時だけはマスクを取って食べるということで、対応しています。配膳については、小さなお盆を用意しながら行っています。登校時については、朝各自で検温してきたものを確実に、教室でタブレットに自分の体温と健康状態を打ち込みまして、保健室で把握して、もし異常がある生徒がいた場合については、保護者に連絡をしてお迎えいただくという、そういった対策もしています。先ほども申し上げましたが、暑さ対策がありますので、登下校については、距離が取れて話さない、おしゃべりをせずに登下校できる場合は、マスクを取ってよいとし、部活動についても同じようにしておりますが、実際のところは、なかなか子ども達がマスクを外したくないというくらい、逆に子ども達が気を付けています。暑いから無理したら駄目だよ、と言うのですが、なかなかマスクを外さずに部活動等を行っていることが多いのが現状です。さすがにこの夏休みは、外の部については外してやっているところが多いと思います。

委員 学童保育所で2、3か月ほど勤務したことがあるのですが、そのとき机などは消毒されていましたが、使ったおもちゃを消毒しないまま次の子に、またその次の子にと、使い回しをしていたことに対して感染リスクがあまり考えられていないと思ったのですが、どうなのでしょう。児童館だと、一人の子が使って返却されたおもちゃに対して、毎回、全部消毒をしています。消毒が出来ないおもちゃに関しては、貸し出さない、使わせない、としていますが、令和2年度のコロナ禍の初めの頃の学童保育は、子どもが自由におもちゃを持ち出して遊び、使ったおもちゃを勝手に返却して、という感じでしたが、現状はどのように対応されていますか。

事務局 令和2年度については、初めてのコロナ禍の中でということもあり、学童保育も試行錯誤しながら開所しているというところもあったものですから、なかなか対応が行き届いていないところがあったかもしれません。現在は、使ったおもちゃについては毎日消毒をするようにお願いしております。

事務局 補足してご説明させていただきますが、確かに、使ったおもちゃですとか物や手すりですとか、子どもや大人が触る場所というのはありますが、おもちゃについては、使う度に消毒ということにはなかなか出来ていなかったというのは事実ではございます。使用前、開始前には、手すりやドアノブ、おもちゃや本など、そういった場所や物は毎回消毒するようにお願いしております。

会長 今、若い人の方がコロナに感染しているようですが、江南市の学校でも感染した子どもはいるのですか。

事務局 実際の感染児童数の集計はございませんが、十数名が感染したことは事実であります。その中のほとんどが家族感染でした。先ほど委員が仰られたように、学校では、感染対策を取っていますので、児童間での濃厚接触という状況は、ほとんどみられないという状況であり、俗に言うクラスター的なことについては無かったと判断しております。学童保育も同じでありまして、感染者が出なかったとは言いませんが、それについても先ほど申しましたように、行動履歴を洗い出しますと、濃厚接触と言われる、マスクを取って、1 m以内の距離で15分くらい接触するような、そういう事案は、ほとんど無いとのことでした。結果的にも、クラスター的な発症はなかったと理解していただきたいと思えます。

最近、特にコロナウイルスの新しい変異株等があつて、若い人の感染が増えているという状況が全国的にも見られますけれども、高齢者の感染者は比較的少なくなってきたらと思っております。これからさらにワクチン接種が進んでいくことによって、家族感染も少なくなっていく可能性があるのかなと思っております。その辺は、注視していきたいと思っております。児童は家族から感染するケースが多いですけれども、例えば「祖父が感染したので、濃厚接触者になる。」というような連絡や「ちょっと心配なので病院へ行く。」などと前もって連絡いただくと、その子に自宅待機をしていただいたケースも今までにはありましたので、そのようにして感染リスクを減少していくということになるのかなと思っております。突然、「感染しました」と言われてしまうと、実を言うと、そういうケースも無い訳ではありませんが、その子がどういう行動をしていたのかを、前日、前々日、その前の日まで洗い出していかなければならない、という状況が当然あるわけですから、できるだけそういう点では、家庭のご協力いただきたいと思っております。実際、今も30代、40代の感染リスクが増えてきていることは事実でありますので、その辺りのところは学校と同じで、学童も注視をしていきたいと思っております。学校は今、夏季休業中なので問題ないのですが、学童はずっと続いていますので、もしそういう状況があれば、できるだけ早くご家庭から連絡をいただくことが、感染リスクを減らす大きな要因になると思えます。

6. その他

事務局より次回開催予定の報告

午後3時7分 閉会